

日記が語る昭和の子どもたち

— 少年少女の日々から見える、あの頃のくらし —

2026.

7.18(土) ▶ 11.15(日)

昭和24年(1949年)。戦後の暮らしがまだ落ち着かない時代、子どもたちは毎日の出来事や感じたことを、素直な言葉で日記に書き留めていました。日記は、子どもの目に映った世界をそのまま伝えてくれる、貴重な「生活の記録」です。

本展では、昭和の子どもたちが残した二つの日記を手がかりに、当時の暮らしを子どもの視点からひもときます。小学一年生の少女が描いた夏休みの絵日記には、海水浴や家のお手伝い、盆の行事など、季節とともに過ごす素朴で豊かな夏の日々がいきいきと記されています。

中学一年生の少年の日記には、メジロの観察、野球、英語の勉強、犬との冒険など、好奇心に満ちた毎日が綴られています。

会場では、羽釜や白黒テレビ、足踏みミシンなど、当時の生活道具もあわせて展示し、日記に描かれた世界を体感できます。

昭和の子どもたちが見ていた日々の風景を通して、来館者の皆さまにもご自身の子ども時代を思い浮かべながら展示をお楽しみいただければ幸いです。

【昭和の生活道具】



【羽釜(はがま)】



【自動保温式炊飯器】



【電子ジャー】



【ダイヤル式黒電話】



【白黒テレビ】

同時開催

「豊浦の記憶～写真でたどる昭和の風景」

- ・開催期間 6月20日(土)～10月25日(日)
- ・会場 烏山民俗資料館 Gallery01
- ・観覧料 無 料
- ・内 容 豊浦町の昭和時代を約20分のスライドショーで振り返ります。



下関市烏山民俗資料館

〒759-6301 下関市豊浦町大字川棚5180番地 川棚温泉交流センター「川棚の杜」内

Tel/083-774-3855 Fax/083-774-3856

【ご利用案内】

- 開館時間 9:00～19:00(入館は18:30まで)
- 観覧料 無 料
- 休館日 12月31日～1月3日

※展覧会開催中に展示替えを実施する場合がございます。詳しくは、当館HPかSNSをご確認ください。

【交通アクセス】

- JR川棚温泉駅より車で約3分
- JR新下関駅より車で約25分
- 中国自動車道 下関I.C.より車で約30分
- 中国自動車道 小月I.C.より車で約20分



← 烏山民俗資料館ホームページ
<https://www.karasuyama-museum.jp>



← 烏山民俗資料館公式SNS
Facebook

